

東芝メディカルシステムズ（栃木県大田原市、瀧口登志夫社長、0287・26・6211）は、医療機器の部材の塗装工程に高効率のヒートポンプを導入し、省エネルギー化と二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出量削減につなげている。全社横断型の省エネ活動を通じて、医療機器市場での「エコリーディングカンパニー」としてブランドの確立を目指す。

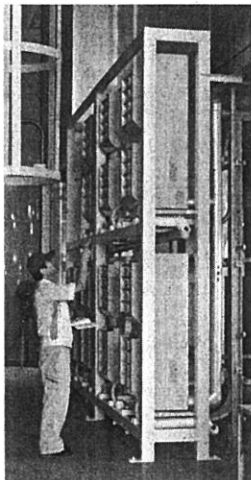
塗装工程は約1000平方メートル（約50×約20メートル）の広さをコンベヤで移動させながら塗装する。この塗装の前処理工程で鋼材に温水を噴霧して、洗浄する。ヒートポンプは、この温水を使用していた。だが、構造内のLPG供給設備は1979年の稼働から約40年がたち、老朽化が目立っていた。従来、熱源には液化石油ガス（LPG）を全面的な更新が迫られる中、単純な更新で燃料とするガスボイラを、単純な更新で

## モノづくり現場

低炭素・省エネ・生産革新 ⑦

# ヒートポンプ導入 塗装工程 更新投資を抑制

東芝メディカルシステムズ（栃木県大田原市）は医療機器の部材の塗装工程に高効率のヒートポンプを導入



ヒートポンプはこの温水を使用していた。だが、構造内のLPG供給設備は1979年の稼働から約40年がたち、老朽化が目立っていた。従来、熱源には液化石油ガス（LPG）を全面的な更新が迫られる中、単純な更新で燃料とするガスボイラを、単純な更新で

## 塗装工程 更新投資を抑制

は設備本体に加え、地中に埋められた配管の取り換えも必要で、投資額は数億円になる。「それだけの投資をするならば、よりエネルギー効率の高いヒートポンプに転換し、投資を抑えようと考えた」（椋本敦彦施設管理担当主任）。

ヒートポンプ16台と付帯する配管などを合わせて設置して、工場の環境維持につなげている」といふ。

東芝メディカルでは、2030年までの工場設備、省エネに活用していく」と意気込む。

（編集委員・村上毅）

【事業所概要】▽所在地 栃木県大田原市下石上1385、0287・26・6211▽主要生産品目 コンピュータ断層撮影装置（CT）などの医療機器▽年間エネルギー使用量（16年度） 4592キロワット（原油換算）▽年間温室効果ガス排出量（同） 9400ト